



## ついに受験に突入！！

第3学年主任 白崎 繁男

この巻頭言を書いていると思うことがあります。「ああ～、また1ヶ月経った～」と。やはり、時が経つのは早いものですね。この1ヶ月、テストがあったのは当然なのですが、もちろん楽しいこともありました。それは卒業アルバムの写真撮影です。個人写真やクラス写真を撮りました。テスト、テストで気が張り詰めた毎日ですが、ふと和らいだみなさんの笑顔を見ることができました。やはりちょっとした休息も必要だなあ、と感じた瞬間でした。卒業アルバムはできあがってからののお楽しみです。

先月、嬉しいことがありました。入試や卒業に向けてカウントダウンカレンダーを作成すると伝えた時のこと。芝先生から「卒業まであと何日？」という質問が出された瞬間、Tさんがすかさず「〇〇日！お便りに書いてあった！」と答えたのです。実は先月の学年だよりの巻頭言に私が書いた内容です。「ちゃんと読んでくれているんだなあ」と嬉しい気持ちになりました。

この巻頭言を書くのもあと3回（1，2，3月）。『1月は行ってしまう。2月は逃げていく。3月は去って行く』と言われています。受験当日もあつという間にやってくるということです。冬休みは年末年始も重なり、何かと慌ただしいものです。しかし、受験生として迎える年末年始は今までとは違って、勉強漬けになるでしょう。息詰まること、苦しくなることもあるでしょう。勉強の合間には息抜きもしつつ、心身のバランスを保って、有意義な冬休みにしてください。冬休み明けには確認テストがありますが『テスト週間』ではなく『**テスト習慣**』になっているみなさんなら大丈夫ですね！

また、12月2～4日には三者懇談会があります。今後の人生を見据えて、どのような進路を歩んでいくのか決断する時期が来たということです。『**ついに本格的に受験に突入**』です。

ここからは、それぞれ勝負の時（試験日）が異なります。自分の勝負の時をしっかりと意識し、日々努力を重ねましょう。受験当日、今まで努力してきたことがあなたの背中を**強烈に**押してくれます。これが『**自信**』というものです。自信は人からもらうものではありません。自分でつけるものです。「自信がありません」というのは「十分な努力をしませんでした」と言っているようなものです。間違ってもそんな悲しい言葉を吐かないよう、最大限の努力をしましょう！

これからも1日1日を最高で最幸な毎日にしていきましょう！



## 12月の学習

### 【思うは招く】

「思うは招く」とは、植松電機社長の植松努氏が提唱する言葉です。自分が実現したいことに向けて明確な目標をたてて、実践していきましょう。

思うとは、「このようにありたい」や「こうなりたい」という願望です。これを実現するためには、行動することや実践することが重要になります。ここで振り返ってほしいことがあります。今の行動や実践について、自分に嘘をつかずに成し遂げているのだろうかということです。一日の平均勉強時間、その質、その量、なにより今の自分は逃げていないかと自分と向き合っているかを思い返しましょう。

思うは成功を招きます。受験に向けてがむしゃらに邁進していきましょう。休み時間の勉強、積極的な質問、教え合い、「**受験は団体戦**」が板についてきました。さらに、その成功を引き寄せる必殺技は「**自分から逃げない**」ことです。3年生全員で、志望校合格を招きましょう。

今すべきこと ①毎日の授業で勝負すること

②高校生活を見据えた更なる基礎学力の向上

## 12月の生活について

早いもので、2025年もあと1ヶ月を残すのみとなりました。みなさんにとって、3年生に進級した今年はどうな年だったのでしょうか。昨年の自分と比べて、成長したなあと思うところには自信にし、今後伸ばしていきたいところはしっかりと見つめた上で、新しい年に向けて、自分の進路に向けて、準備を整える1ヶ月にしましょう。

また、4日（木）～10日（水）は人権週間です。人権週間の取組を通して人権についての理解を深め、いじめや差別を許さない心、思いやりの心を育てていきましょう。それぞれの道に向かって心が不安定になる生徒が多い3年生。相手の立場に立った言動をし、温かい心の通い合う学年で卒業まで突き進みましょう。

## 今月の生活目標

### 【より考えを深めるために iPad を正しく使おう】

#### ① 課題を理解し、情報収集能力を高めよう

現代社会では、インターネットなどを通じて膨大な情報に触れることができるが、中には誤った内容や偏った情報も含まれています。誘惑もたくさんあります。その中で課題をしつかりと理解し、幅広い情報の中から、課題解決のための情報を見つけ出す力を高めましょう

#### ② メリハリをつけよう

授業の中で iPad を使うタイミング、使わないタイミングがあるはずです。より考えを深めるために、自分が収集した情報をもって友達と話すこともあるでしょう。今何をするべきなのか、調べるとき、書くとき、話すとき、素早く切り替えて、より質の高い授業をみんなでつくっていきましょう。

### ③ 余裕をもって準備・片付けをしよう

足羽第一中学校の iPad の使用ルールとして「授業で必要なときは休み時間に準備、使わない場合保管庫に戻す。休み時間などは原則使用しない」となっています。休み時間に次の授業準備を行う際、iPad の準備・片付けを早めに済ませましょう。休み時間の使い方を改めて考え、余裕をもって 10 分間を過ごせるといいですね。また、保管庫が開けっぱなしにならないように、最後の人や気付いた人は誰でも扉を閉め、廊下も整った状態にすると気持ちが良いですね。

### <送迎について> ～ご協力よろしくお願いします～

降雪で自転車通学が禁止になると、部活動ごとに時間差での下校が実施されます。お迎えは、決められた時間に、決められた場所をお願いします。プール駐車場をご利用の際はプールの方（奥）まで進んで乗降をお願いします。踏切付近で渋滞が発生すると大変危険ですので、ご理解とご協力をよろしくお願いします。また、車の往来が多くなりますので、交通事故には十分ご注意ください。

## 命の大切さを学ぶ授業を受けて

|           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>1組</b> | <ul style="list-style-type: none"><li>・今までもにも自転車のヘルメットはかぶるようによく言われてきましたが、実際かぶっていないと頭にダメージがいて、顔や脳が大きく損傷してしまうことが分かったので、望まない死を遂げてしまった子どもたちなどの人々の分までしっかりと生きていくことが大切だと感じました。また、ヘルメットの着用以外にも自転車の点検や標識に注意しながら運転していこうと思います。</li><li>・普段の何気ない日常はいつまでも続くものではないということが分かりました。最近、SNS などが沢山でき、その中でいじめなどを簡単にできるようになりました。その分自殺などが増えているように感じます。周りは言いにくいことでも助けを求めることは大切だと分かりました。一日一日を大切にしたり、交通ルールを守ったりしていきたいと思います。</li></ul>                  |
| <b>2組</b> | <ul style="list-style-type: none"><li>・私は、宮地さんの話を聞いて、「親は我が子に幸せになって欲しいもので、たとえ我が子が死んでしまっても子を幸せにしたいのが親心です。」という言葉が特に心に残りました。もし私が親より先に死んでしまったとしたら、親の今までの生きがいや友達、妹とのこともすべて過去のものとなり、一人死ぬだけで複数の大切な人たちの人生が失われてしまうと分かりました。自分を大切にすることとは、他の人のことも大切にすることにつながっていくのだなと思いました。自分と自分の大切な人たちに明日が来ることに感謝して生活したいです。</li><li>・いつどんな事故があって、どう巻き込まれるか分からないからこそ、いろんな場面を想定して自分で備えていくことが大切だと思いました。命を大切にすることは当たり前だけど、どんな風に大切にすることがより大切だと思います。明日が来ることを当たり前せず、毎日を大事にすること、時間を大切にすること、時間の使い方を見直していきたいです。そして、自分の命だけでなく、人の命も大切にしていきたいです。</li></ul> |

|           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>3組</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・明日が来ないことなんて考えたこともなかったけれど、宮地さんのお話を聞いて、本当に突然周りの人や自分の明日が無くなってしまいうことに気づけました。気がつくことはできたけど、想像してもいまいちピンとこなくて、実感することはできませんでした。私は親の立場に立ったことがないけれど、自分の子と同じ歳の子がみんな10年20年と歳を重ねて、我が子だけが小さいまま成長を見ることができないというのが辛いと感じました。親とケンカして、友だちと笑ってという当たり前だと思っている日常がそうではなくて、いつか壊れたときに後悔しないことはできないけれど、常日頃から思っていることを伝えて、少しでも心残りを減らせたなら良いなと思いました。</li> <li>・私は今まで命の大切さや生きることについての授業はたまに受けていたけれど、そこまで深く生きることについて考えていませんでした。でも、今日宮地さんの話は重みが違い、死が突然来るかもしれないということや命の大切さを改めて実感しました。明日が必ず来るわけではないから、今やりたいことや頑張りたいことを一生懸命やって、悔いのない人生を送りたいと思いました。</li> </ul> |
| <b>4組</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・私は「死」という言葉はすごく怖くて闇のような言葉だと思います。死にたくなくても最終的には迎えることになると思いますが、人生は100年あると思っているので明日が来る奇跡を大切にしながら100年間生き抜きたいと思います。そのために、来年度から絶対義務があるようにヘルメットや一時停止などを罰金するのが嫌だからではなく、自分の命を守るためにルールを守っていきます。</li> <li>・この授業で改めて命の大切さを学びました。今ある日常が当たり前ではないことを意識し1日1日を大切に過ごしていきたいと思いました。また、自分の命を守るために交通ルールを守り、常に安全を心がけ生活するようにします。遅刻しそうになって焦り、急いで運転したら事故にあうこともあるので時間にゆとりをもって行動するようにします。</li> </ul>                                                                                                                                                 |



## ～11月の保護者の方の声を紹介します～

秋晴れの中、第60回の母校駅伝が盛大に行われました。今年は節目の年ということで、記念のトートバックのプレゼントやOBチームも参加され、より盛り上がったように思います。私は50回大会より前からこの駅伝の応援に行っており、60年間タスキを渡し続けられていることに重みを感じています。学校の先生方をはじめ、地域の方のご協力や警備をしてくださる警察の方や関係者皆様のお力のおかげだと思います。

私は地元の小学校と子供の走る区間での応援でしたが、先輩を応援する子供達のキラキラとした瞳と我が子我が孫を応援する沿道の方々のいきいきとした表情が印象的でした。また精一杯駆け抜ける生徒の皆さん、またOBの皆さんにお力をいただきました。この伝統的な行事がこれからも学校行事の垣根を超えて地域の行事として、次65年大会70年大会と更にタスキを繋いで欲しいと思います。来年も応援に行きます。本当にありがとうございました。

学年だよりの感想、学校への質問、要望事項などがありましたら、お書きください。

第3学年の学年便り、次号に掲載させていただきます。



## 今月のスクールカウンセラー来校日

■12月2日(火) ■12月9日(火) ■12月16日(火)